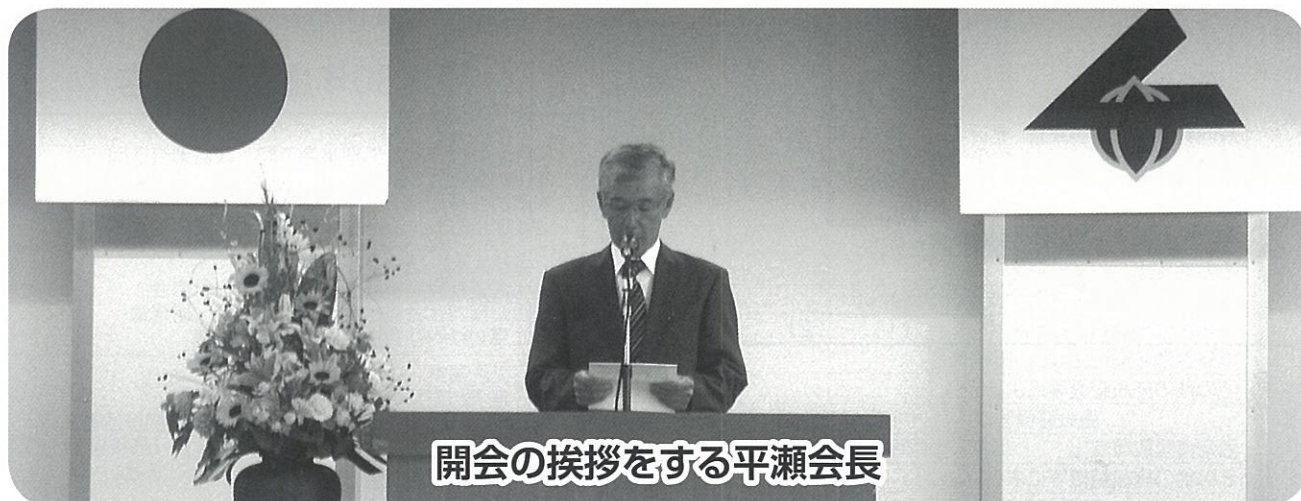


福祉だより

2019. 10



開会の挨拶をする平瀬会長

令和元年度 長寿をお祝いする会（9月6日）



米寿を迎えられた皆さんに澁谷町長
から記念品が贈られました



歌と遊戯を披露したこども園の皆さん

社会福祉法人

秩父別町社会福祉協議会

（老いも若きも力を合わせ、福祉の町づくりをすすめよう）

No.100



福祉だよりは、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております。

平成30年度 資金収支計算書（一般会計）

平成30年度事業及び

決算状況についてのご報告

科 目（大区分）		決算額（単位：円）
事業活動による収入	会費収入 会員755名×800円	604,000
	寄付金収入 寄附金	1,217,000
	経常経費補助金収入 町補助金、共同募金配分金	6,225,524
	受託金収入 町受託事業、道社協受託金収入	4,130,836
	貸付事業収入 貸付事業償還金収入	280,000
	事業収入 のし袋・供花用紙収入	129,360
	介護保険事業収入 介護報酬収入、利用者等利用料収入	3,813,310
	受取利息配当金収入 普通・定期預金利息収入	2,298
	その他の収入 紙パック回収収入他	2,700
	事業活動収入計（1）	16,405,028
事業活動による支出	人件費支出 職員、非常勤職員給与・賃金	8,934,298
	事業費支出 給食費、消耗器具備品費支出他	475,602
	事務費支出 業務委託費、印刷製本費他	6,627,286
	貸付事業支出 生活支援資金貸付金	180,000
	共同募金配分金事業費 老人福祉活動、児童・青少年福祉活動、歳末たすけあい配分金他	1,028,158
	助成金支出 福祉、ボランティア団体、子ども会他	509,992
	負担金支出 会議負担金他	56,000
	その他支出	0
	事業活動支出計（2）	17,811,336
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）	▲1,406,308
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入 町補助金	0
	その他の施設整備等による収入	0
	施設整備等収入計（4）	0
	固定資産取得支出 車庫、車両取得費	0
	その他の施設整備等による支出	0
施設整備等による支出	施設整備等支出計（5）	0
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）	0
その他の活動による収入	積立資産取崩収入 社会福祉事業積立資産取崩収入他	2,790,341
	その他の活動による収入	0
	その他の活動収入計（7）	2,790,341
	積立資産支出 社会福祉事業積立資産支出他	1,108,531
	その他の活動による支出	0
その他の活動による支出	その他の活動支出計（8）	1,108,531
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）	1,681,810
予備費（10）		0
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）		275,502
前期末支払資金残高（12）		389,729
当期末支払資金残高（11）＋（12）		665,231

平成30年度貸借対照表（平成31年3月31日現在）

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘 定 科 目	金額（単位：円）	勘 定 科 目	金額（単位：円）
【流動資産】	2,170,299	【流動負債】	1,505,068
現金預金	624,217	事業未払金	1,479,444
事業未収金	1,546,082	職員預り金	25,624
		【固定負債】	
		負債の部合計	1,505,068
【固定資産】	24,340,591	純資産の部	
（基本財産）	1,000,000	【基本金】	1,000,000
定期預金	1,000,000	【国庫補助金等特別積立金】	1,883,499
（その他固定資産）	23,340,591	【その他の積立金】	21,367,792
建物	758,382	支援貸付事業積立金	1,962,854
車両運搬具	1,125,117	退職共済積立金	8,703,069
貸付事業等貸付金	80,000	社会福祉事業積立金	10,701,869
支援貸付事業積立資産	1,962,854	【次期繰越活動増減差額】	754,531
退職共済積立資産	8,703,069	（うち当期活動増減差額）	▲1,506,308
社会福祉事業積立資産	10,701,869	純資産の部合計	25,005,822
預託金	9,300	負債及び純資産の部合計	26,510,890
資産の部合計	26,510,890		



令和元年度 第1回評議員会（5月8日開催）

平成30年度 事業報告

- 会務の運営
 - ①評議員会3回 ②理事会7回 ③監事会4回
 - ④正副会長会3回 ⑤評議員選任・解任委員会2回
 - ⑥町内会長会議2回
 - ⑦秩父別町シルバー見守り協議会1回
- 各種大会、研修会及び諸会議
 - ①北海道社会福祉協議会主催会議・研修会
 - ②空知管内社会福祉協議会主催会議・研修会
 - ③北空知管内社会福祉協議会連絡会議
- 町受託事業
 - ①介護予防普及啓発事業
ふれあい・いきいき広場 11回 当初登録者69名
 - ②心配ごと相談事業6回 相談件数5件（直接相談含む）
 - ③除雪サービス 27戸（除雪ヘルパー22名）
 - ④養育支援訪問事業
育児・家事援助業務 0回
- 広報活動
 - ①福祉だよりの発行2回
 - ②生活改善運動の実践31件
（会葬礼状28件、全快・快気祝1件、その他2件）
 - ③リサイクル運動 牛乳パック回収 300kg
- 防犯・交通安全
 - ①防犯診断（中央西町内）
 - ②交通安全運動の協力 ③地域安全運動の推進
- 青少年健全育成
 - ①青少年補導員会議1回
 - ②夏・冬休み期間中の補導パトロール
 - ③就学祝貯金通帳贈呈 新入学1年生10名
 - ④子ども育成会活動への支援 7子ども育成会
 - ⑤子ども会ボランティアセミナー参加
- 在宅福祉
 - ①ふれあい・いきいき広場 11回 当初登録者69名
 - ②福祉杖貸出 6件
 - ③福祉用具貸出
車イス6件、歩行器3件、四点杖2件
シルバーカー2件、置き型手すり1件
 - ④除雪サービス 27戸（除雪ヘルパー22名）
- 社会福祉
 - ①北海道護国神社遺族招聘 遺族会員10名
 - ②全町環境衛生週間（春・秋）
 - ③長寿をお祝いする会 中止
 - ④心配ごと相談事業6回 相談件数4件（直接相談含む）
- ボランティア活動
 - ①ボランティア活動保険加入 99名
 - ②ボランティア活動 昼食会ボランティア4回 2団体
- 貸付金関係
 - ①生活福祉資金 1件
 - ②生活支援資金 1件（今年度償還済4件）
- 諸団体の事務協力
 - ①共同募金委員会 ②老人クラブ連合会
 - ③身障福祉協会 ④遺族会 ⑤防犯協会
 - ⑥高齢者事業団

社協役員改選、新会長に平瀬雄敏氏選任

任期満了に伴う、役員改選が行われ、新しく平瀬雄敏氏が会長に選任されました。

5月8日開催の令和元年度第1回評議員会後の理事会において選出されたもので、任期は令和3年度第1回評議員会までとなります。

また、今限りで勇退された岡崎稔前会長は、同じく開催の理事会において社協顧問に推戴されました。

新役員の皆さんは次のとおりです。

(敬称略)

役職名	氏 名	選出区分	新任・再任
会 長	平 瀬 雄 敏	学識経験者	新任
副 会 長	戸 田 保	町内会長会	再任
副 会 長	西 田 康 二	学識経験者	新任
常務理事	早 川 聡	福祉行政部局	再任
理 事	小 山 裕 一	農業協同組合	新任
理 事	北 垣 威 史	商工会	再任
理 事	中 西 俊 治	民生児童委員協議会	再任
理 事	佐々木 律 子	身障福祉協会	再任
理 事	高 崎 馨	老人クラブ連合会	再任
理 事	梅 澤 大 観	教育関係部局	再任
理 事	藤 岡 和 正	学識経験者	再任
監 事	藤 岡 浩 文	住民代表	再任
監 事	梅 森 一 義	住民代表	再任

心温まるご厚志ありがとうございます

平成31年4月1日より令和元年9月20日迄の間に多くの皆さんからご寄付をいただきました。

お寄せいただいた寄付金は、福祉向上のために活用させていただきます。

(敬称略)

氏 名	住 所	寄 付 内 容	氏 名	住 所	寄 付 内 容
戸 村 和 広	北 新	父の香典返しにかえて	合 田 和 広	日の出	祖母の香典返しにかえて
合 田 功	旭	母の香典返しにかえて	金 子 千恵子	東 栄	夫の香典返しにかえて
川 西 桂 子	中央西	夫の香典返しにかえて	鈴 木 清	筑 紫	社会福祉事業活動のために
川 端 照 子	東 栄	夫の香典返しにかえて	秩父別ライオンズクラブ		社会福祉事業活動のために
早 川 登美子	駅 前	社会福祉事業活動のために	尾 谷 澄 子	屯 田	夫の香典返しにかえて
大 山 榮 子	筑 紫	夫の香典返しにかえて	大 瀧 昭 吉	南	妻の香典返しにかえて

社協名誉会員に推戴

東栄町内金子千恵子様、筑紫町内鈴木清様から本会へ多額の寄付を賜り、会員等に関する規程に基づき、理事会において、社協「名誉会員」に推戴されましたのでご報告致します。

令和元年度 赤い羽根共同募金運動

今年も10月1日から全国一斉に実施され、
“赤い羽根共同募金” にあたたかいご支援をいただいております。

今年お寄せいただいた募金は、計画に基づき令和2年度に助成され、
本町の福祉事業に役立ててまいりますので、町民の皆様の温かいご支
援とご協力をお願い申し上げます。

募金目標額 **1,080,000円**と定めております。

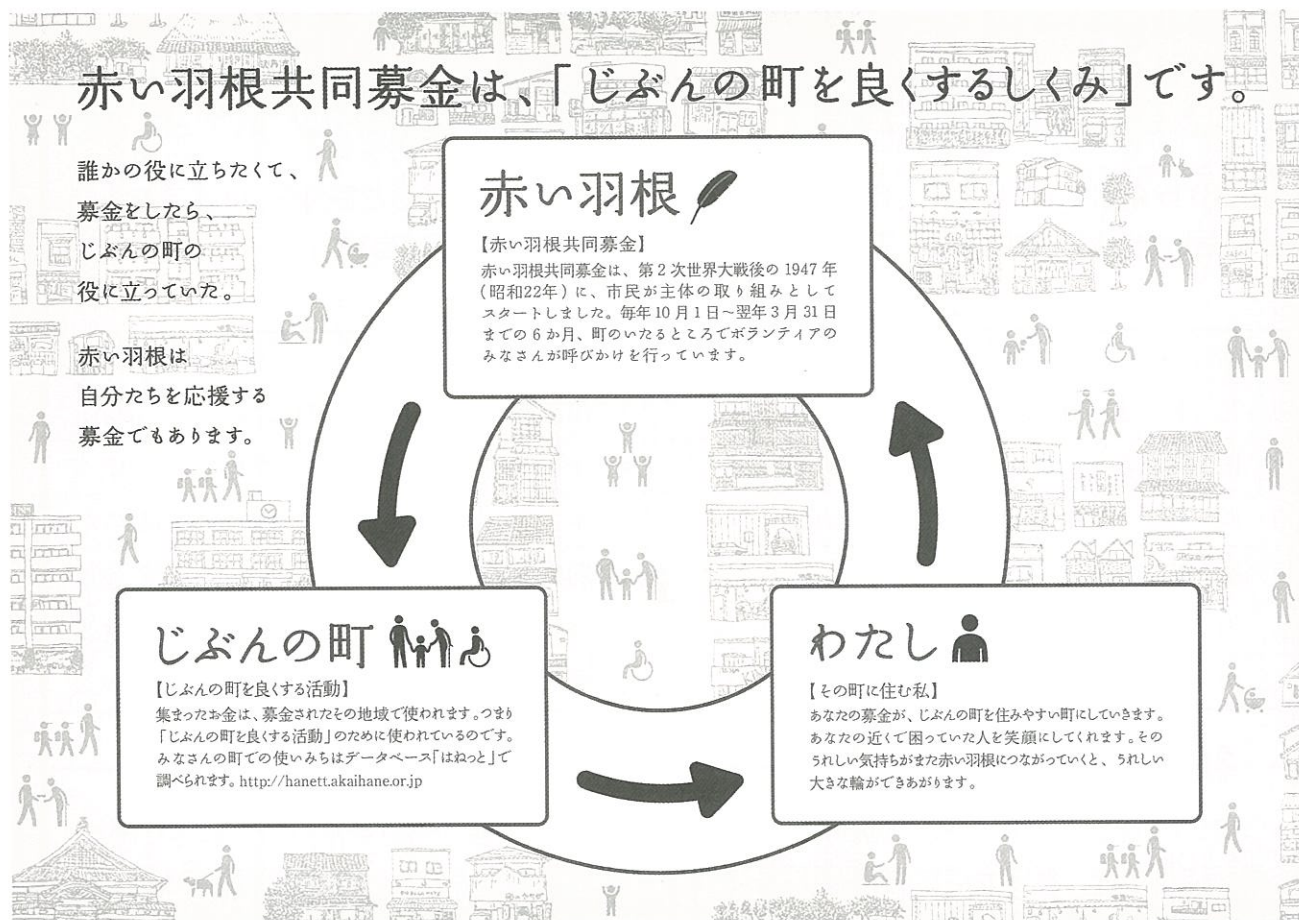
内訳

・封筒募金	640,000円
・法人募金	370,000円
・その他	70,000円



配分計画（令和2年度に助成予定）

高齢者支援事業に	500,000円	長寿をお祝いする会、昼食会 老人クラブ連合会活動
障がい者児支援事業に	50,000円	身障福祉協会活動
児童・青少年支援事業に	60,000円	子ども会活動、補導パトロール
住民全般への福祉活動事業に	290,000円	民生児童委員協議会活動、広報誌発行、 生活改善実践運動、ボランティアセンター活動
空知地方関連事業に	13,300円	空知地方関係事業
道・広域地域用途分に	111,000円	道内関係事業
募金運営事務費に	55,700円	
合計	1,080,000円	



社協の主な動き

地域支え合い活動空知地区

推進セミナーに参加

標記セミナーが8月7日、空知管内社協から約200名、当社協からも役員7名が参加し雨竜町で開催されました。

本年は、実践発表の当番として、平成二十三年から実施している「ふれあい・いきいき広場の取り組みについて」を発表しました。毎回広場で実施している脳のトレーニングを参加者に実践していただく発表となりました。



▲実践発表する職員

第二十四秩父別町社会福祉大会開催

5年毎に開催する社会福祉大会を7月22日、福祉関係者、町民70名が参加し、老人福祉センターで開催しました。永年に亘って、社協役員や民生委員、補導員を務められた7名の皆さんに表彰状が、また、奉仕団体2団体と名誉

会員に感謝状が贈られました。

また、「地域住民同志の絆を結ぶ会話術」相手の心に寄り添う『傾聴』と題して、合同会社つえるかむ代表社員池田ひろみ氏の講演をいただき、さらにはふれあい広場として、ビンゴゲームを行った大会となりました。



▲講演いただいた池田ひろみ氏

ふれあい・いきいき広場開催

令和元年度のふれあい・いきいき広場は4月の申込みにより66名の登録をいただき、5月より来年3月までの間、毎月1回開催しています。

毎回、専任講師によるお話しや健康体操、さらには毎月異なったレクリエーションを行い、楽しく実施しています。6月、10月、11月、2月の年4回はボランティアグループの皆さんの手作りによる昼食会が行われます。

9月には、温泉行事として、本年は小平町の「ゆったりかん」へ51名の参加により実施し、海を見ながらの散策

と美味しい昼食で交流を深めています。



▲小平町ゆったりかんにて

長寿をお祝する会開催

令和元年度の長寿をお祝する会が9月6日、町民、来賓、関係者209名が参加し開催されました。

冒頭、本年米寿を迎えられた33名の皆さんに記念品が贈られました。

昨年は北海道胆振東部地震の影響によるブラックアウトにより、やむなく中止、2年ぶりの開催となりました。



▲沢山の参加をいただきました

関連団体の主な動き

町老人クラブ連合会

会長杯パークゴルフ大会

町老連では8月22日、会員45名が参加し、第12回会長杯パークゴルフ大会を開催しました。

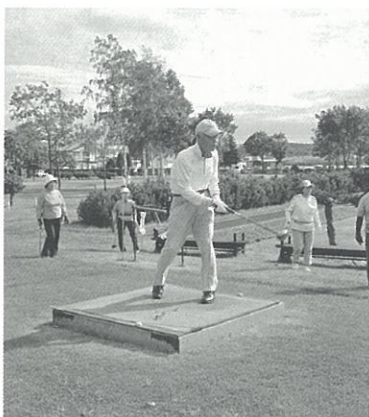
当日は、ホールインワンを3名が達成するなどハイレベルな大会となりました。各部の優勝者は左記のとおりです。

77歳以下の部

今井 信彦さん スコア80

78歳以上の部

向井 孝司さん スコア79



▲優勝した向井孝司さん

社会奉仕の日

9月13日、会員約40名が参加し、社会奉仕の日の活動として、老人福祉センター内外の清掃を実施しました。

清掃終了後は、秩父別駐在所川口所長より、犯罪被害の目立つ特殊詐欺の



▲戦没者追悼法要

遺族会
遺族会では、7月と10月の年2回、戦没者追悼法要を行っています。
7月1日の法要は大光寺慰霊堂において、来賓、会員20名が出席し開催されました。



▲きれいに掃除いただきました

防止対策について、また、近々で連続して発生した盗難事件については日中でも戸締りの徹底を、さらには死亡交通事故の多発により、本年度全国3位となる死亡交通事故防止のための安全運転の励行について、それぞれお話を聞くこととなりました。

身障福祉協会

身障福祉協会では、9月20日「講演会」を開催致しました。

「引き受けて 生きる partⅡ」と題して、昨年に引き続き、北竜町法光寺前住職義盛ひとみ氏のお話があり、会員、町民54名が参加しました。



▲身障講演会

高齢者事業団

高齢者事業団では、本年度会員20名により、町有地や一般家庭の草刈りや公共施設の管理、清掃等の仕事を行っています。本年より行う仕事もあり、日々忙しく従事していることから、7月30日に中間慰労会を、会員相互の交流と情報交換を目的に17名が参加して行いました。

会員の減少、固定化する中で、楽しいひとときを過ごすこととなりました。事業団への加入等につきましては社協事務局（TEL33-21111内線55）迄お問い合わせ下さい。

社協広報誌「福祉だより」

第一〇〇号発行

社協広報誌「福祉だより」が、今回で第一〇〇号の発行を迎えました。
昭和四〇年七月二〇日の第一号発行以来、社協の事業活動他地域福祉の情

報提供に努めて参りました。

今回、第一号に掲載された昭和四〇年の事業計画、予算の代議員総会決議の記事を掲載してみました。これからも適宜な情報提供に努めて参ります。

明るい健康な町をきずこう

— 社会福祉協議会で決議 —

昭和四十年、社会福祉協議会の予算と事業計画をきめる代議員総会が、さる六月二十二日、青年研習所で二〇名の代議員が集って開かれました。活発な討議のあと、一三〇万円の事業予算が可決され、町民全体が手を取りあつて、健康で明るい町づくりにとりくむことを申しあわせて散会しました。

それはいのちを守る仕事

〇住民のいのちを守る仕事〇それはまた「健康で豊かな生活をきずく仕事」ともいえるでしょう。〇心身ともにすこやかにこれがわたくしを守る仕事〇す。わたくしたちの「いのち」をささえるこの「心身」がともにすこやかな毎日であるためには、自分だけ、また、自分の家庭だけではえられません。自分をとりまく、また、自分の家庭をとりまく地域社会もそうであつて、はじめてこのねがいがかえられるわけです。

それは一人ではできない仕事

たとえば 仕事をとりあげてみますと 窓口には金網をはり、DD

Tをまき、一生けんめいにハエをたたいても、となり近所が無関心であつては、ハエはつきからつぎへと飛んでくるでしょうし、どうしてその目的は果たせないでしょう。また、子どもを健全に育てることも、おとしよりのしあわせをたかめあうことも、さらに、不幸なときのはげましや助け合いも、そして、犯罪やいろいろな災害や事故を防ぐことも、どれひとつを考えると、一人一人が立ちあがり、おたがいが手を結びあつて、さしそまつた自分たちの問題をみつめたり、たしかめあつたり、それを解決するための仕事のすすめ方考えあつて、みんなの力を出しあつて実行してこそ、はじめてかなえられることばかりだといえるでしょう。